



## 会員近況

京都産業大学理学部計算機科学科教授  
(社)システム総合研究所理事長

榎木 義一

去る昭和55年4月、京都大学工学部を定年退職するとともに、京都産業大学理学部計算機科学科において、システム理論に関する教育と研究を行なうかわら、定年の日と同じ日に設立された社団法人システム総合研究所の理事長として、システム工学の利用という意味での非常に幅広い実際問題を、いわゆる産学協同の体制で研究するべく自らその運営にあたっている。これこそ筆者が京大在職中から考えていた“システム工学の実際への応用”なる夢を実現しようとする試みなのである。創立後3年足らずの現在、本研究所もきわめて順調な歩みを続けているが、この間に筆者の得た最も大きな感想は、産学協同という言葉ほど言うは易く行なうは難きものはないということである。学問を本業とする大学人と実世界の現象に直接に係り合っている産業界の人たちの間には考え方や方法論において相違があつてあたり前のことである。この大きなギャップを意識しながら、なおかつその両者が互いに交流を図ることによって、互いに他を利用するとともに自分も向上するという至難な事業が少しずつでも実現してゆくことに喜びを感じつつ、産学協同の正しいあり方を模索しているのが近況である。

神戸市立工業高等専門学校  
土木工学科

木下 栄蔵

現在、上記の学校で応用数学・土木計画学・交通計画学を担当している教師ですが、あるきっかけで次のような本をだすことになりました。仮題「数学版・頭の体操」(光文社・カップサイエンス近刊)であります。日頃から数学とくにORや確率・統計はわかりやすく、おもしろく、楽しくなくてはならないと信じているものですが、そのような主張に沿って書いた本であります。たとえば、待ち行列や線形計画法あるいは動的計画法といったORも日常生活上発生する事柄を例に調べてみますと、意外にも常識外の結果として、楽しいものなのです。一方、確率・統計の概念も、日常生活のいたるところで、応用されておりますし、特に野球等スポーツの世界に適用してみますと、おもしろい結果として楽しみが倍増し

ます。私は、小さい頃から推理小説やSF(両方ともきわめて数学的である)を愛好しておりますが、この「本」に、エラリー・クイーンやアガサ・クリスティの味が少しでもにじんでおれば望外の幸せであります。

東亜燃料工業(株)  
情報システム室 全田 寛

目下、ひとさまのお作りになった、ブラックボックスに等しいプログラムをおっかなびっくり動かしているのですが、こういう、ORとはあまり関係のない謎と作業は、本当に楽しくて困ってしまいます。とりわけ、そのプログラムの説明書でかんじんなことに関する記述がぬけていたり、記述されている内容と現実が一致しなかったりすると楽しみは倍増、時のたつのを忘れてしまいます。

しかし、楽しみも度を越せば身体に毒、ディスプレイ装置の見すぎで乱視になってしまい、去年から眼鏡を掛けています。今、33歳ですが、20代で歯がアウト、30代で眼がアウト、40代では? と心配になるこのごろです。皆様も、楽しみには十分気をつけましょう。

出光興産(株)  
徳山製油所 御船 泰

昭和32年以来の本社勤務から、このたび、製油所勤務にかかわることになりました。徳山製油所の操業開始は、私が製造部門に配属になった年であり、オイルバランスのとおり方を実習について以来、現場経験のない私に数々の学習機会を与えてくれたところです。

「ORでなくOR的な考え方の重要性」(昨秋のシンポジウム「ORのマネジメント」における三菱石油新野氏の発表テーマ)を認識して、

「常識語で謙虚に話し合い」

「限りなく人間味を追って実践」

に努めたいと思っています。

本社在勤中、OR学会の先生方、諸先輩には、LPの基礎知識から生産計画への適用まで、また、会計情報システムとORにかかわる数々のご指摘等、多くの分野にわたってご教示いただきました。この欄を借りて厚くお礼申し上げます。

広島大会も終了したばかりですが、山陽路をお通りの節は、緑豊かなわが製油所をぜひお楽しみ下さるようおねがいします。